

組織の目標設定シート(行政経営Aシート)

組織	道路建設課
職	課長
氏名	鈴木 裕司

組織の使命・役割	何のために我が組織が存在するのか、我が組織が果たすべき使命・役割は何か
「個性、交流、安心のふるさとづくり」を目指して、交通基盤を整備することにより、 ①広域交流の促進 ②さらなる誘客促進 ③安全・安心の確保 を図る。	



組織の目標	使命・役割を果たす上で、我が組織が目指すゴール(成果)は何か、その目標値はどのような水準か
(定性的目標)	何をどのような状態にしたいか
①人との交流を盛んにする活力あるみちづくり: 隣県や三大都市圏との広域交流圏の形成や、時間距離の短縮による県土の更なる一体化等を図る。 ②魅力ある観光資源を活かす「おもてなし」のみちづくり: 観光資源として「みちの価値」を高めるとともに、能登・金沢・加賀各地域を巡る回遊性を向上する。 ③生命・生活を守る強くしなやかなみちづくり: 生活道路の安全性と走行性の向上を図る。	

(定量的目標)	具体的な指標、目標値を設定する				
目標とする成果指標	現行値	年(度)	目標値	年(度)	目標値の設定根拠(他県との比較など)
①輪島～名古屋間の所要時間	240 分	H30 年度	220 分	R7 年度	石川県長期構想
①能登地域から金沢への通勤可能人口の割合 (上段:1時間圏、下段:1時間半圏)	59 % 80 %	H30 年度	80 % 90 %	R7 年度	石川県長期構想
②観光客の道路利用満足度	7 割	H30 年度	8 割	R7 年度	石川県長期構想
③狭隘な生活道路の安全・安心な通行確保率	7 割	H30 年度	8 割	R7 年度	石川県長期構想



令和元年度に重点的に取り組むべき課題	左記の具体的な内容を記載する
①高規格幹線道路網の整備促進	能越自動車道 輪島道路及び田鶴浜七尾道路の整備促進を要望する。
①広域幹線道路の整備	国土交通省、隣県(富山、福井、岐阜県)と緊密な連携を図り、「ダブルラダー輝きの美知(みち)」構想の実現に向けた幹線道路整備を進める。
②道の駅等のおもてなしの道路整備	「道の駅」等 道路休憩施設における快適性の向上を図るためトイレ施設の改修を進める。
③生活道路の整備	1. 5車線の道路整備(※1)等による住民ニーズに応じた効果的な整備を進める。

(※1) 1. 5車線の道路整備: 比較的交通量の少ない道路において、待避所の設置や見通しの悪いカーブ区間の改良といった小規模な工事を行うことで、速やかに走行性と安全性の改善を図る整備手法